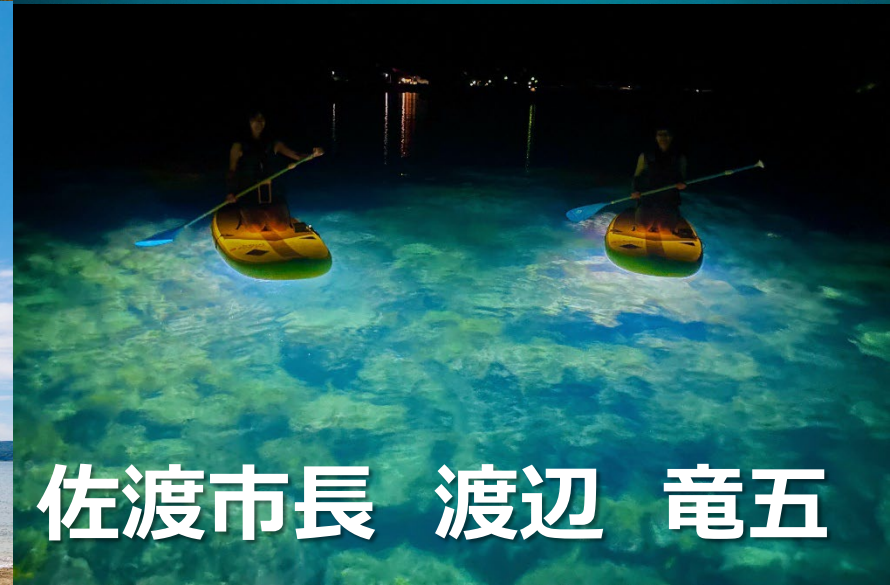


二地域居住で佐渡で豊かに「暮らし」「働く」



地域力の強化に向けた全国市町村長サミット2025in秋田

第一分科会：二地域居住・関係人口
令和7年10月27日（月）

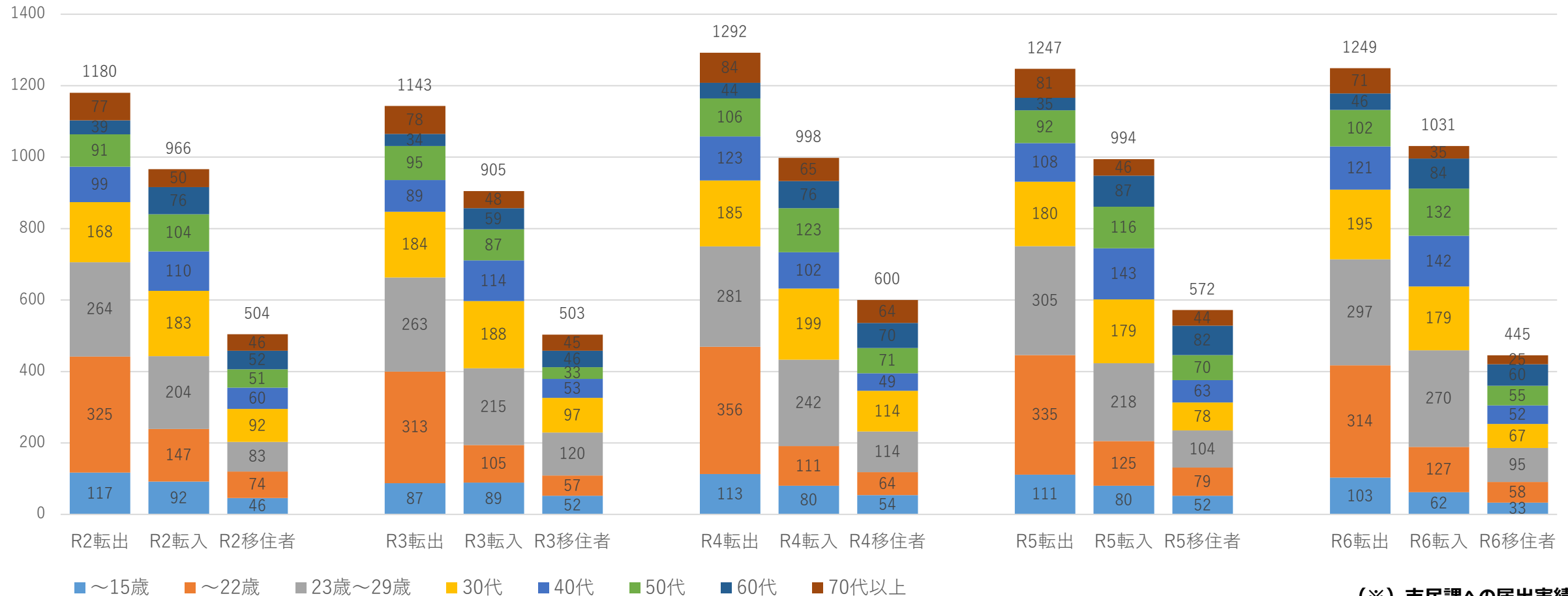


佐渡市長 渡辺 竜五

佐渡市における社会動態について

- ・ 転入者のうち移住者は令和4年度の**600名**をピークに令和6年度には**445名**と減少した。
- ・ Uターン者は令和5年度まで増加し、令和6年度に初めて▲6%と減少したが、**Iターン者は▲41%**と大きく減少。
- ・ 移住3年後の定着率は67%となり、**再転出の約70%はIターン者**となっている。

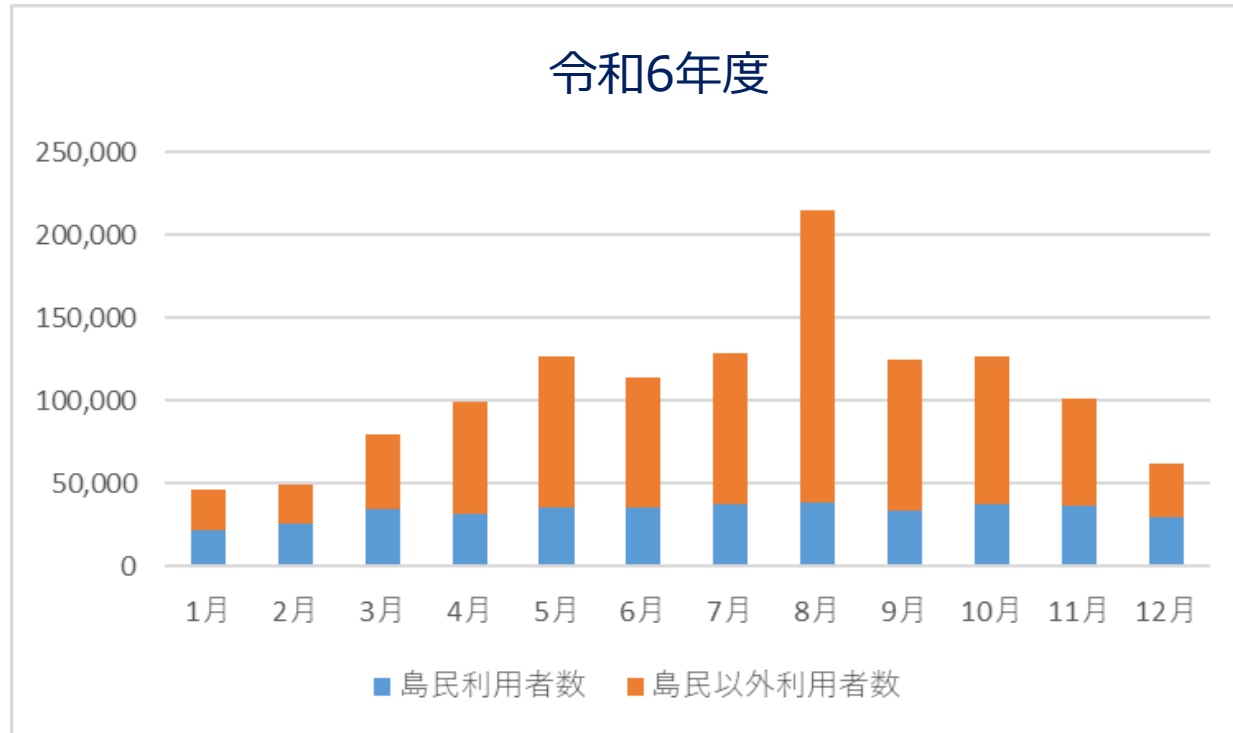
各年度の転入出数の推移



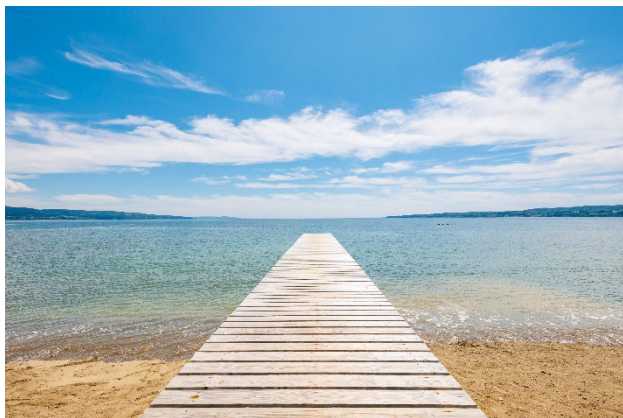
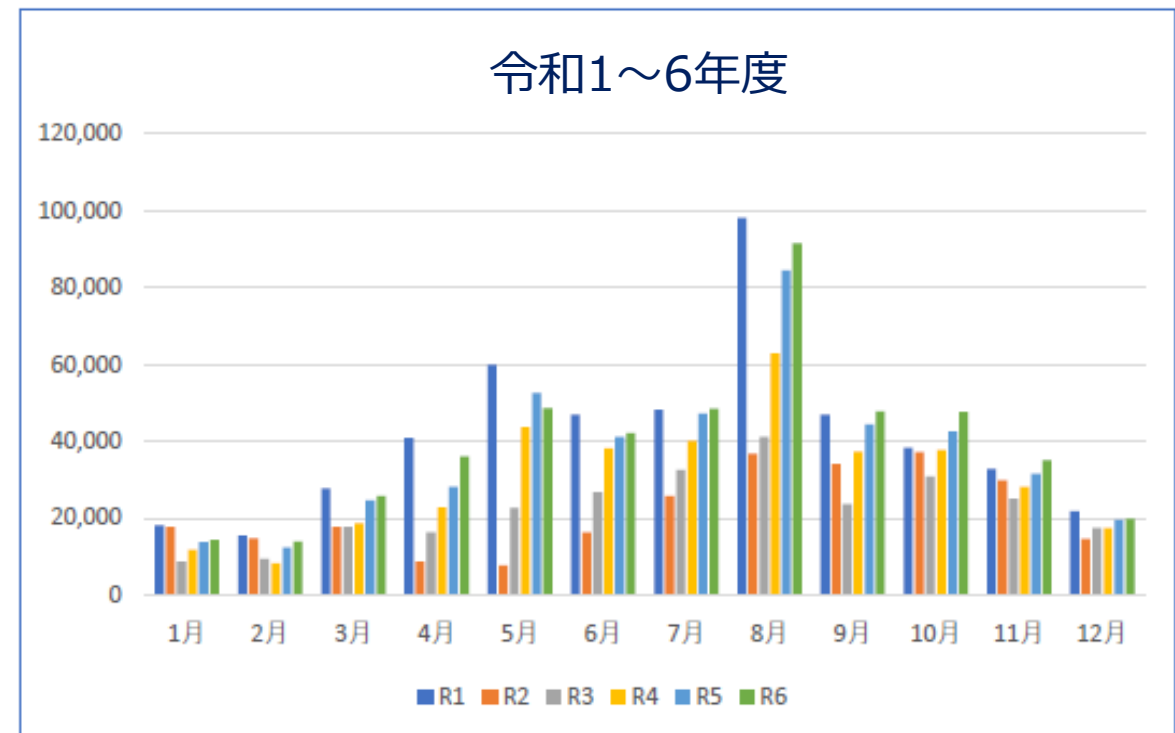
(※) 市民課への届出実績件数

季節で変わる佐渡の暮らし方

新潟－佐渡航路における月別利用者数



観光における月別入込者数



佐渡市特定居住促進計画

令和7年5月15日公表



豊かに暮らしイキイキと働ける環境とは？

季節を感じながら働き・暮らす
中・長期型**二地域居住**



～地域の担い手として働き・暮らす環境～



年間をとおした柔軟な働き方による
短期型**二地域居住**



～ライフスタイルに合わせた働き方～



リモートワーク、副業・複業、地域行事参加など

【応募主体】 佐渡二地域居住推進コンソーシアム【佐渡市、（一社）佐渡共生推進機構、佐渡汽船株】

【事業概要】 離島における二地域居住を核としたエリア再生計画と離島航路運賃低廉化モデルの構築

地方と地方の二地域居住を核としたエリア再生計画の策定

夏 summer



佐渡の繁忙期

「夏」における県内他
地域の事業拠点の
整備・運営

冬 winter



県内他地域の繁忙期

「冬」における佐渡の
事業拠点の整備・
運営

すぐに住める
レジデンス

飲食店としても
事業展開可能
な店舗等

地元事業者等
とのコミュニティ
と交流促進

二地域居住の受入促進のためのすぐ住める拠点

- 佐渡市が空き家を借上げ、4組利用可能な**シェアハウス**に改修。
- 移住希望者のみならず、ワーキングホリデーや二地域居住者も活用でき関係人口の拡大を図るため、宿泊事業を営むとともに、コミュニティ形成のノウハウを持った市内事業者に転貸し、**【デュアルベースnido】**としてOpen！
- すぐ住める拠点整備を民間と連携し推進するため、平成以降建築空き家の掘り起こしを実施。**



基本的に1カ月以上からの利用
入居者同士の交流も促進！



- ・【佐渡市複業協同組合 トキコネクト】が2024年7月17日に新潟県知事から認定を受ける。
- ・特定地域づくり事業協同組合における広域的な**新たな派遣**の仕組みを提案。



2025年8月現在

- ・組合員数 : 5社 ⇒ 10社
- ・組合事務局 : 事務局長+広報担当 (パート)
- ・派遣人数 : 5名 (今年度更に採用予定！)



夏～秋は**佐渡市複業協同組合**で活躍
冬～春は〇〇**複業協同組合**で活躍



年間を通して観光人材として派遣・活躍

第2のふるさとづくり ～3つの留学による関係人口拡大～

2園での保育園留学！



2校の小中学校による島留学



3校の高校による
地域みらい留学



佐渡市地域みらい留学部

島内3校で県外生募集中！
佐渡高校、佐渡総合高校、羽茂高校

選べる島

佐渡島



1期生求む。

新潟県佐渡市では、令和5年度より地域みらい留学（島留学）制度を開始し、令和5年度より佐渡市立佐渡高校、佐渡総合高校、羽茂高校の3校で県外生を募集します。令和5年度より新たに、新潟県立佐渡高等学校、新潟県立佐渡総合高等学校でも募集を開始し、計5校で島留学の受け入れを行います。

佐渡の自然と文化を活かし
多様な人材が活躍し交流する島へ！

